



## B コマンド

---

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「コマンドモード」を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

# banner motd

MoTD (Message-of-The-Day) バナーを設定するには、コンフィギュレーション モードで **banner motd** コマンドを使用します。

**banner motd** [*delimiting-character message delimiting-character*]

**no banner motd** [*delimiting-character message delimiting-character*]

シンタックスの説明	
<i>delimiting-character</i>	区切り文字を識別します。
<i>message</i>	40 行(各行は最大 80 文字)に制限されたバナー メッセージを指定します。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.3(4)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 設定した MoTD バナーは、ユーザが Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチにログインする際、ログイン プロンプトの前に端末に表示されます。

区切り文字を選択するときには、次の注意事項に従ってください。

- *message* 文字列では、*delimiting-character* を使用しないでください。
- 区切り文字として " および % は使用しないでください。

メッセージテキストには、\$(token) 形式でトークンを組み込むことができます。トークンは、対応するコンフィギュレーション変数に置き換えることができます。たとえば、次のように入力します。

- \$(hostname) では、スイッチのホスト名が表示されます。
- \$(line) では、vty 行または tty 行の番号か名前が表示されます。
- \$(line-desc) および \$(domain) トークンはサポートされていません。

**例** 次に、「Testing the MOTD Feature」というテキストのバナー メッセージを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# banner motd # Testing the MOTD Feature. #
```

次に、複数行にまたがってトークンを使用し、バナー メッセージを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# banner motd #
Enter TEXT message.End with the character '#'.
Welcome to switch $(hostname).
You tty line is $(line).
#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show banner motd</b>	設定したバナー メッセージを表示します。

# boot

システム上での操作を実行するには、コンフィギュレーション モードで **boot** コマンドを使用してください。この機能を無効にするか、出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
boot {asm-sfn {bootflash: | slot0: | tftp:}[image] [module [slot-number]] |
  auto-copy |
  kickstart {bootflash:| slot0:| tftp:}[image] [sup-1 [sup-2] | sup-2] |
  lasile {bootflash:| slot0:| tftp:}[image] [module [slot-number]] |
  ssi {bootflash:| slot0:} |
  system {bootflash:| slot0:| tftp:}[image] [sup-1 [sup-2] | sup-2]}

no boot {asm-sfn | auto-copy | kickstart | lasile | system}
```

## シンタックスの説明

<b>asm-sfn</b>	仮想イメージを設定します。
<b>module</b> <i>slot-number</i>	Storage Services Module (SSM) のスロット番号を指定します。
<b>auto-copy</b>	ブート変数イメージの自動コピーを設定します。
<b>kickstart</b>	キックスタートイメージを設定します。
<b>lasile</b>	ブートイメージを設定します。
<b>ssi</b>	Single System Image (SSI) を設定します。
<b>system</b>	システム イメージを設定します。
<b>bootflash:</b>	ブートフラッシュのシステム イメージ URI を指定します。
<b>slot0:</b>	スロット 0 のシステム イメージ URI を指定します。
<b>tftp:</b>	TFTP のシステム イメージ URI を指定します。
<i>image</i>	イメージ ファイル名を指定します。
<b>sup-1</b>	上位のスーパーバイザ
<b>sup-2</b>	下位のスーパーバイザ

## デフォルト

ディセーブル  
**auto-copy** のデフォルトの状態がイネーブルです。

## コマンドモード

コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2(2)	このコマンドが導入されました。
3.0(1)	<b>auto-copy</b> のデフォルトの状態がディセーブルに変更されました。

## 使用上のガイドライン

**boot kickstart slot0:image** コマンドは現在使用できません。キックスタートには、**bootflash:** のみ利用できます。

**boot auto-copy** コマンドが実行された場合、システムは、アクティブ スーパーバイザ モジュール (スタンバイ スーパーバイザ モジュール以外) のローカル (現在の) にあるブート変数イメージを、スタンバイ スーパーバイザ モジュールにコピーします。キックスタートおよびシステム ブート変数には、スタンバイ スーパーバイザ モジュールに設定されているこれらのイメージのみがコピーされます。モジュール (ラインカード) イメージには、場所 (ブートフラッシュまたはスロット 0) に対応しているスタンバイに存在するすべてのモジュールがコピーされます。

**例**

次に、新規システム イメージ ファイルを SYSTEM 環境変数に追加する例を示します。

```
switch(config)# boot system bootflash:system.img
```

次に、コンパクトフラッシュ デバイス (slot0:) から起動する例を示します。スイッチは SYSTEM 環境変数を更新して、指定のフラッシュ デバイスに新規イメージ ファイルを反映させます。

```
switch(config)# boot system slot0:system.img
```

次に、コンフィギュレーション ファイル内の古いキックスタート環境変数を上書きする例を示します。

```
switch(config)# boot kickstart bootflash:kickstart.img
```

次に、使用する SSM イメージを指定する例を示します。

```
switch(config)# boot asm-sfn bootflash:m9000-ek9-asm-sfn-mz.1.2.2.bin
```

次に、アクティブ スーパーバイザ モジュールからスタンバイ スーパーバイザ モジュールへのブート変数の自動コピーをイネーブルに設定する例を示します。

```
switch(config)# boot auto-copy
```

The following example disables the automatic copy feature (default).

```
switch(config)# no boot auto-copy
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show boot	設定したブート変数情報を表示します。

# bport

Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスに B ポート モードを設定するには、**bport** オプションを使用します。FCIP インターフェイスで B ポート モードをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bport**  
**no bport**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** ディセーブル

**コマンド モード** インターフェイス コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは `switch(config-if)#` サブモードからアクセスします。

**例** 次に、FCIP インターフェイスに B ポート モードを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# interface fcip 1
switch(config-if)# bport
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show interface fcip</code>	指定した FCIP インターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
	<code>bport-keepalive</code>	B ポートのキープアライブ応答を設定します。

# bport-keepalive

B ポート Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスのキープアライブ応答を設定するには、**bport-keepalive** オプションを使用します。B ポート FCIP インターフェイスのキープアライブ応答をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

**bport-keepalive**

**no bport-keepalive**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** ディセーブル

**コマンドモード** インターフェイス コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは `switch(config-if)#` サブモードからアクセスします。

**例** 次に、B ポート FCIP インターフェイスのキープアライブ応答を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# interface fcip 1
switch(config-if)# bport-keepalives
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show interface fcip</b>	指定した FCIP インターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
	<b>bport</b>	B ポート FCIP インターフェイスを設定します。

# broadcast

ゾーン属性グループでブロードキャスト フレーム属性をイネーブルにするには、**broadcast** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

**broadcast**

**no broadcast**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** ディセーブル

**コマンド モード** ゾーンアトリビュート コンフィギュレーション サブモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
2.0(x)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

ブロードキャスト フレームがすべての Nx ポートに送信されます。

FL ポートに接続している NL ポートがブロードキャスト フレームのソースとブロードキャストゾーンを共有している場合、

フレームはループにあるすべてのデバイスにブロードキャストされます。

このコマンドは、拡張ゾーニングのブロードキャスト属性を設定するだけです。ベーシックモードのブロードキャストゾーニングをイネーブルにするには、**zone name** コマンドを使用してゾーン コンフィギュレーション モードを入力したあと、**attribute broadcast** サブコマンドを使用します。

**例** 次の例では、ゾーン属性グループのブロードキャスト属性を設定する方法を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone-attribute-group name admin-attributes vsan 10
switch(config-attribute-group)# broadcast
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show zone-attribute-group	ゾーンアトリビュート グループ情報を表示します。
zone mode enhanced vsan	VSAN の拡張ゾーン分割をイネーブルにします。
zone name	ゾーンアトリビュートを設定します。
zone-attribute-group name	ゾーンアトリビュート グループを設定します。

